「アームアップPUチェア ARK(アーク)」

Fuji Boeki Co., Ltd.

組立説明書



不二貿易株式会社
福岡県北九州市若松区大字安瀬64-36

https://www.fujiboeki.jp/

このたびは、本商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
安全にご使用いただくためにも、本組立説明書を必ずお読みになり、内容を十分ご理解の上、ご使用ください。
また本組立説明書は大切に保管してください。

本商品は、チェアです。それ以外の用途では使用しないでください。
使用者、及び他の人々への危害や損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくために、以下の「取扱上の注意」を必ずお守りください。

取扱上の注意［ ⚠警告 ］

人が死亡または重症を負う可能性がある内容

⃠ してはいけない禁止事項

■商品の上に乗ったり、飛び跳ねたり、肘部や背部の上に腰かけたりしないでください。
転倒し、怪我や商品の破損の原因になります。
■床面の平らでないところ、傾斜角度の大きいところでの使用や、背もたれに過度に荷重をかけたり商品を傾けるなどの不安定な状態での使用はしないでください。商品の破損や転倒し怪我をする原因になります。
■背もたれや肘などの座面以外の部分に座ったり、支えにして立つなど過度な荷重をかけないでください。
商品の破損や転倒し怪我をする原因になります。
■勢いよく腰かけたりしないでください。商品の破損や転倒し怪我の原因になります。
■商品に不用意に寄りかかったり、手をついたりしないでください。転倒し怪我の原因になります。
■二人以上で腰かけたりしないでください。商品の破損や転倒し怪我の原因になります。
■商品に折りたたみ機能がついている場合、開閉はゆっくりと行い、折りたたみ金具の部分に絶対に触れないようにしてください。怪我の原因になります。
■回転盤部分に手、足、指を差し込む行為は非常に危険ですので絶対しないでください。怪我の原因になります。
■背もたれの可動部に手、足、指を入れる行為は非常に危険ですので絶対にしないでください。怪我の原因になります。
■商品が回転する場合、過度な回転はしないでください。商品の破損、怪我の原因になります。
■商品に脚載せリングが付いている場合、その脚載せリングの上には立たないでください。
商品の破損や転倒し怪我の原因になります。
■商品にキャスターが付いている場合、座ったまま急激に動いたり、押して遊んだりしないでください。
転倒して怪我をしたり、商品自体、また他のものの破損につながる恐れがあります。
■商品にキャスターが付いている場合、毛足の長い敷物の上では使用しないでください。
商品の破損や転倒し怪我の原因になります。
■商品にギアがついている場合、ギアの上に乗ったり、背もたれの先端部分などに過度な荷重をかけないでください。
商品の破損や怪我の原因になります。
■商品にオットマンやフットレストがついている場合、それらは脚を載せるものですので、その上に座ったり立ったりしないでください。商品の破損や転倒し怪我の原因につながる恐れがあります。
■保護者の目の届かないところで、お子様だけで使用させないでください。思わぬ怪我をする恐れがあります。
■お子様が手や足を隙間に入れないように十分に注意してください。怪我の原因になります。
■乳幼児を寝かせないでください。窒息や落下など重大な事故につながる恐れがあります。
■たばこの火などを商品の上に落とさないでください。火災の原因になります。
■本来の用途以外に使用しないでください。思わぬ怪我をする恐れがあります。
■破損、変形した商品は使用しないでください。思わぬ怪我をする可能性があります。
■修理や改造はしないでください。商品の強度が弱くなり、商品の破損、怪我につながる恐れがあります。
■梱包材のビニール袋を頭から被らないでください。窒息の原因になります。
■この商品は家庭用として企画されたものです。家庭用以外の用途ではご使用いただけません。

取扱上の注意［⚠注意］

人が障害を負ったり、物的損害が発生する可能性がある内容

設置について

■傷や凹みのつきやすいウッドフロアやクッションフロア、畳などでご使用になる場合は、
必ずカーペットなどの敷物の上に商品を設置するか、フェルトなどの保護材をつけてご使用ください。
■ビニール製の床などは、商品の設置面の材質や塗料とまれに化学反応を起こし変色、着色する場合がありますので、
保護シートなどをご使用ください。
■直射日光や冷暖房の風が直接当たらないところに設置してください。変色、変形や部材のひび割れなどの原因になります。
■屋外には設置しないでください。
商品の変形、変色、急激な劣化が起こり、商品の破損、怪我の原因になります。
■高温多湿の場所は避けて設置してください。
カビやダニの発生の原因になり、健康に害を及ぼす恐れがあります。
■ストーブやコンロなど火の気のある場所は避けて設置してください。火災の原因になります。
■家電製品の電源コードは避けて設置してください。コードが破損し、感電、火災の原因になります。
■床面の平らなところに、水平になるように設置してください。破損、ガタツキ、転倒、変形、異常音の原因になります。
■商品は壁から５㎝以上離れた場所に設置してください。壁の素材と商品の素材が化学反応を起こし、色移りや色落ち、
湿度の高い時などは木部の膨張やカビの発生の原因になります。

使用時

■商品を回転させたり、背もたれを倒したりなど可動させる場合は、周囲に人や物がないことを確認してから動かして
ください。思わぬ怪我や破損の原因になります。
■商品に座る際は、しっかりと深く腰かけてください。浅く腰かけると転倒し怪我をする恐れがあります。
特にキャスター付きの場合は注意してください。
■端に偏って荷重をかけないでください。背もたれ、座面の破損、変形の原因になります。
■商品にギアが使用されている場合は、ギア付近に乗ったり、座ったりして直接荷重をかけないでください。
ギア付近はクッションが薄くなっており、思わぬ怪我や破損を起こす恐れがあります。
■商品の周辺や上部に物を置かないでください。落下し破損や怪我の原因につながります。
■商品の上に、熱いものを直接置いたり、ビニールやガラスを長時間置いたままにしないでください。
変色、塗装の剥がれなどの原因になります。
■素肌や衣類が濡れたままでのご使用は避けてください。張地のシミ、変色、汚れや劣化の原因になります。
■整髪料が商品に直接触れないようにしてください。商品の変質、変色の原因になります。
■合成皮革とその他の本革や生地などの異素材を接触させないでください。
その異素材に使用されている染料が移ることがあります。
■商品の材料に籐や竹を使用している場合は、構造上突き出ている部分や角で怪我をしないようにご注意ください。
■常に同じ位置に腰かけるなど偏ってご使用になると、中材のウレタンフォームが偏って変形したり張地の劣化を早める
原因になります。

商品の移動

■床面を引きずらないようにしっかりと本体を持ち上げて移動してください。床や商品の破損、怪我の原因になります。
■商品の重量によっては、一人で無理に移動させず、大人二人以上で移動させてください。
思わぬ怪我や破損につながる恐れがあります。

取扱上の注意［ご使用に際して］

ご使用に際して

■ご使用になる前に商品にガタツキやぐらつき、傷、割れ、ヒビ、また可動部の不具合など安全性に問題が無いか確認をしてください。不具合がある場合は使用しないでください。怪我の原因になります。
■最初にご使用になるときは室内の換気を十分に行ってください。
接着剤などに使用されているホルムアルデヒドが商品や梱包材にこもっている可能性があり、ホルムアルデヒドに過敏な方や乳幼児などはアレルギー症状を起こす可能性があります。
■使い始めの時は、素材の臭いが気になる場合がありますが、その時は風通しの良いところで陰干しを行うか、定期的に換気を行ってください。次第に臭いは緩和されていきます。
■商品の表面や収納部に工場から出荷時のほこりや汚れがわずかに残っている場合がありますが、不良ではありません。ほこりを払ったり、やわらかい乾燥した布でふき取ってください。

保守・点検・お願い

■商品の保守、点検は１ヶ月をめどに定期的に行ってください。使用の有無にかかわらず保守、点検は必要になります。それを行わないと劣化の進行を早めたり、故障、破損の原因になり危険です。
■汚れを落とす際は、中性洗剤を浸した柔らかい布を固く絞ってから、汚れた部分をたたくようにして拭いた後に乾いた布で水分をふき取ってください。
■表面の材質が紙製のものの汚れを落とす際は、水分が多いと表面材が剥がれる恐れがありますのでご注意ください。
■汚れを落とす際に水分の多い雑巾、クレンザー、シンナー、灯油、アルコール、ベンジンなどは使用しないでください。変色、変形、ひび割れなどの商品劣化の原因になります。
■化学雑巾をお手入れにご使用になる場合は、その説明書をよくお読みになり注意点をお守りください。
■表面の素材に革が使用されている場合は、年に２回ほど市販のオイルクリーナーで油分を補い、年に３～４回ほど市販のレザークリーナーで磨くことをお勧めします。
■臭い、湿気、害虫などが付着した場合は、十分に陰干し、殺虫、防虫処理を行ってご使用ください。
■商品にひび、割れ、折れなどの破損や、動作不良、異音などがある場合は使用を直ちに中止してください。怪我をする可能性があり非常に危険です。
■張地に起毛タイプの素材が使用されている場合は、繊維の方向で色合いに違いが出る場合がありますが、ブラッシングすることでその濃淡を緩和できます。
■天然木など天然の素材を使用しているものは、木目、節、色味、風合いがご覧になった展示品や画像と違う場合があります。天然素材の特徴ですのでご了承ください。

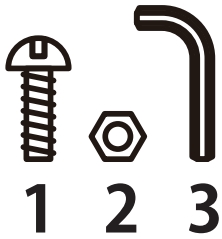
廃棄方法

■廃棄方法はお住いの自治体の指示に従ってください。

組み立ての前に（共通）

組立家具は、下記のポイントをおさえることでスムーズに組み立てることが出来ます。
組み立ての前に必ず下記の説明文をお読みください。

部品・パーツの確認（種類・数量）



組み立ての前に、必ず記載された部品・パーツが揃っているか、確認してください。紛失しやすい小さいネジやボルトなどは、小箱やトレイ・小皿などに分けて入れて管理を行うと便利です。

※部品・パーツが足りなかった場合は、お手数をお掛け致しますが、購入店を通じて、弊社にお問い合わせください。

組立手順の把握



最初に組立説明書をよく読み、全体の流れを把握してください。

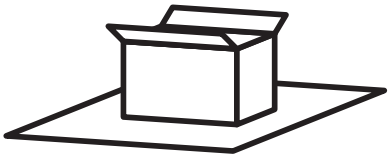
手順前後による組み立ての不備の防止だけでなく、スムーズな作業に繋がります。

必要な道具の確認



商品によって、必要な工具・道具（はさみやカッター、軍手など）をご準備ください。

作業スペースの確保



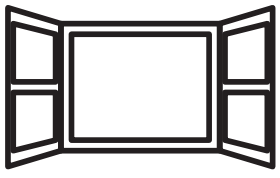
マット・毛布・ダンボールなど

平らで広めの作業スペースの確保は、スムーズな組み立てだけでなく、小さなパーツの紛失や、思わぬ事故の防止につながります。
また引き出しや扉がある商品は、開いた時の壁との距離やスペースを確保して作業を行ってください。

床の保護

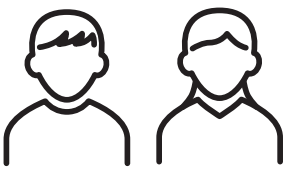
組立時、商品を回転させたり移動させたりするときに、床面や商品を傷つけてしまうことがあります。床にマットや毛布、ダンボールなどを敷いて作業を行うことで、キズや破損から守ることが出来ます。

換気



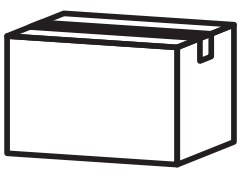
商品によっては、材質の特性上接着剤などのにおいがする場合がございます。組立時は風通しの良い場所で、換気を行いながら組み立てを行ってください。

２人以上で



組み立てが複雑な商品は2人以上で組み立てることで精度の高いスムーズな組み立てを行うことが出来ます。また商品によっては、サイズの大きい商品や重たい商品もあり、商品の破損や事故を未然に防ぐことに繋がります。

組立完了まで梱包資材は廃棄しない



商品の組み立てが完了するまで、梱包資材は廃棄しないでください。
返品時、運送会社によっては商品の引き取りを断られる場合があります。

組み立てのポイント（ネジの締め方・取り付け）

ネジの大きさに合ったドライバーを使用してください。
大きさの合わないドライバーの使用は、力の無駄が多く、部品の破損につながります。

ゆるめに締めながら組み立て（仮締め）

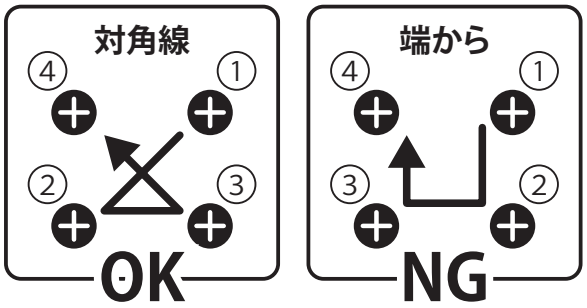
最初は全てのネジを８割くらい締め（仮締めを行い）、
最後に全てのネジをしっかり締めてください（本締め）。

最初からネジをしっかり締めていくと（本締めを行っていくと）、他のネジ穴の位置がずれ組み立たなかったり、商品にひずみやねじれが生じ、がたつきの原因となる場合があります。



対角線にネジを締めていく

ネジを対角に締めることで、締めつける力が均等になり、ネジの緩みが少なくなります。
また端から順番に締めていくと、その部分だけに力が集中してしまうことで商品が反り、ネジ穴がずれ、反対側のネジが取り付けられないことがあります。



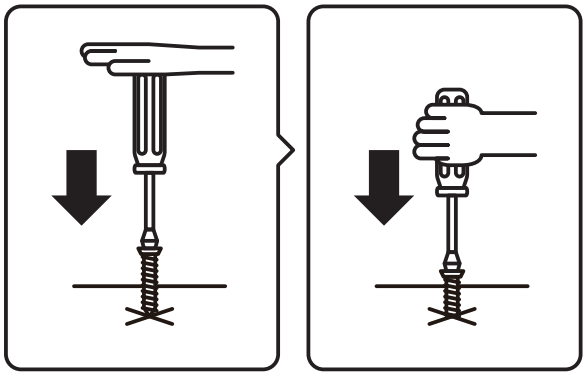
ネジ締めが硬い場合

ネジを取り付ける際、ネジ締めが硬い場合がございます。その際は無理に押し込まず、家庭用のロウや固形石鹸などをネジに塗って締めると入りやすくなります。

ネジ穴（リード穴）がない場合

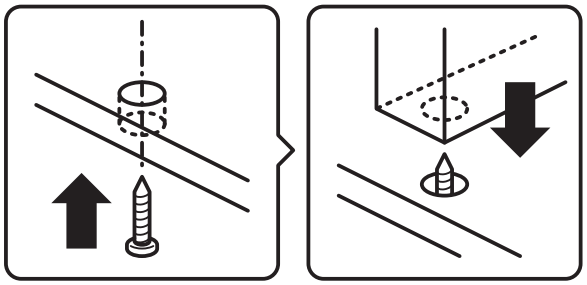
商品・取り付け部位によっては、ネジ穴（リード穴）が開いていない商品がございます。その際は、下記の説明文を参考にして、組み立てを行ってください。

1，ドライバーをたたくなどして、ネジで部材に跡を付けます。
2，ネジに力をかけながら締めていきます。



ネジ穴が見えにくい場合

ネジ穴が見えにくい場所をネジで固定する場合は、先にネジをネジ穴に通しておき、ネジの先端部を出して部材のネジ穴と合わせることで、組み立てを簡単にすることが出来ます。

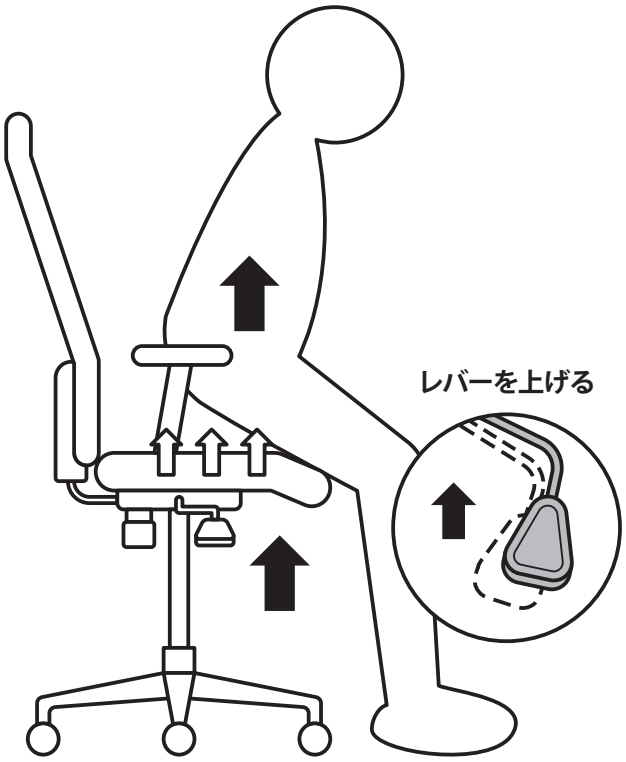


使用方法（座面高さ調整（ガス圧昇降））

圧縮ガスのピストンシリンダーを使用した、座面の高さ調節することが出来る機能です。

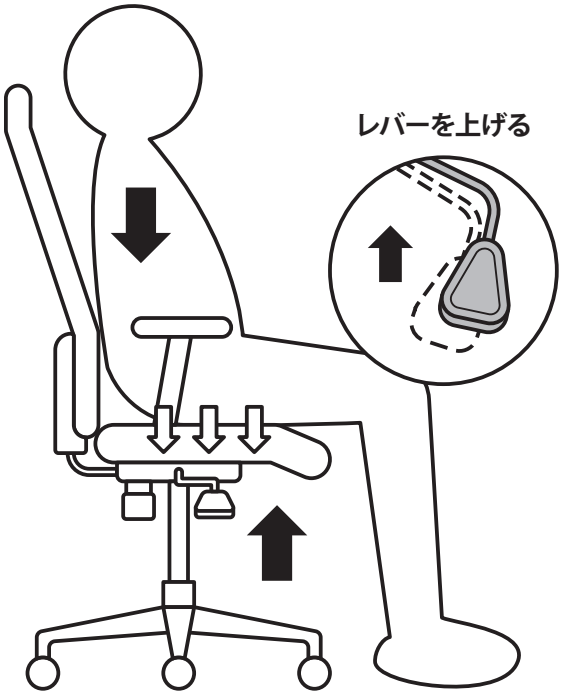
座面を上げたいとき

荷重（体重）をあまりかけない状態でレバーを
上げると、座面を上げることが出来ます。
（脚部の中のシリンダーが伸長）



座面を下げたいとき

荷重（体重）をかけた状態でレバーを
上げると、座面を下げることが出来ます。
（脚部の中のシリンダーが収縮）



■体重の軽い方は、荷重がかからず座面が下がりにくいことがあります。
その場合は座面の奥深くの位置に座り、全体重を掛けるようにして何度か座り直してください。
またお子様がご利用になる際は、大人の方が手を貸していただけますよう、よろしくお願い致します。

■レバーの形状は商品によって異なる場合があります。

使用方法（背・座ロッキング［揺れ動く］）

「背・座ロッキング」とは、背もたれと座面が一緒の状態、背もたれと座面の角度が固定された状態で、後ろに倒すことができる機能です。

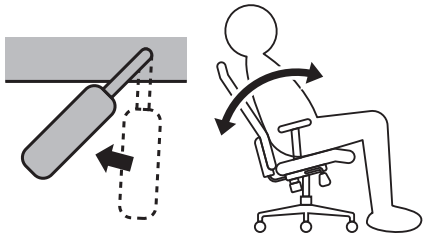


商品によってレバーの形状が異なる場合があります。

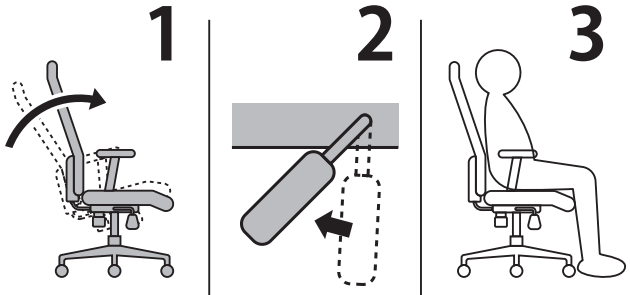
背もたれの固定を解除する

背もたれに体重をかけるとロッキング（揺れ動く）します。

レバーを引いた状態のまま使用する。



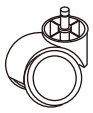
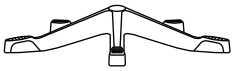
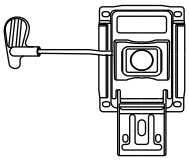
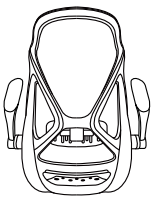
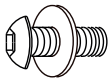
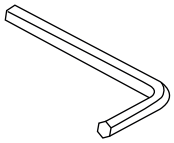
背もたれを固定する



組立部品・パーツ

部品・パーツの確認

■組み立ての前に、必ず部品・パーツの番号・形状を下の一覧で確認してください。
■ネジなどの細かい部品はなくさないようにまとめ、組み立ての際に使用する分だけ取り出すようにしてください。
※部品・パーツが足りなかった場合は、お手数をお掛け致しますが、購入店を通じて、弊社にお問い合わせください。

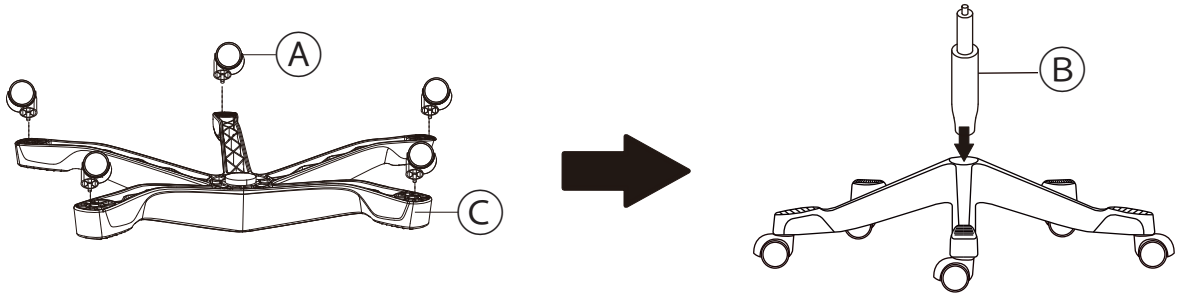
Ⓐキャスター ×5 	Ⓑガスシリンダー ×1  ※実物と仕様が異なる場合があります。	Ⓒレッグフレーム ×1 	Ⓓブラケット ×1 
Ⓔ背もたれ ×1 	Ⓕ座面 ×1 	Ⓖボルト ×4  M6×25mm	Ⓗボルト ×3  M8×30mm
Ⓘ六角レンチ ×1 	準備するもの  軍手		

組立説明図

（プラスドライバーを用意し、安全のために必ず２人以上で組み立てを行ってください。）

1 脚部の組み立て

下図を参考に、Ⓐキャスターと Ⓑガスシリンダーを Ⓒレッグフレームへ取り付けてください。



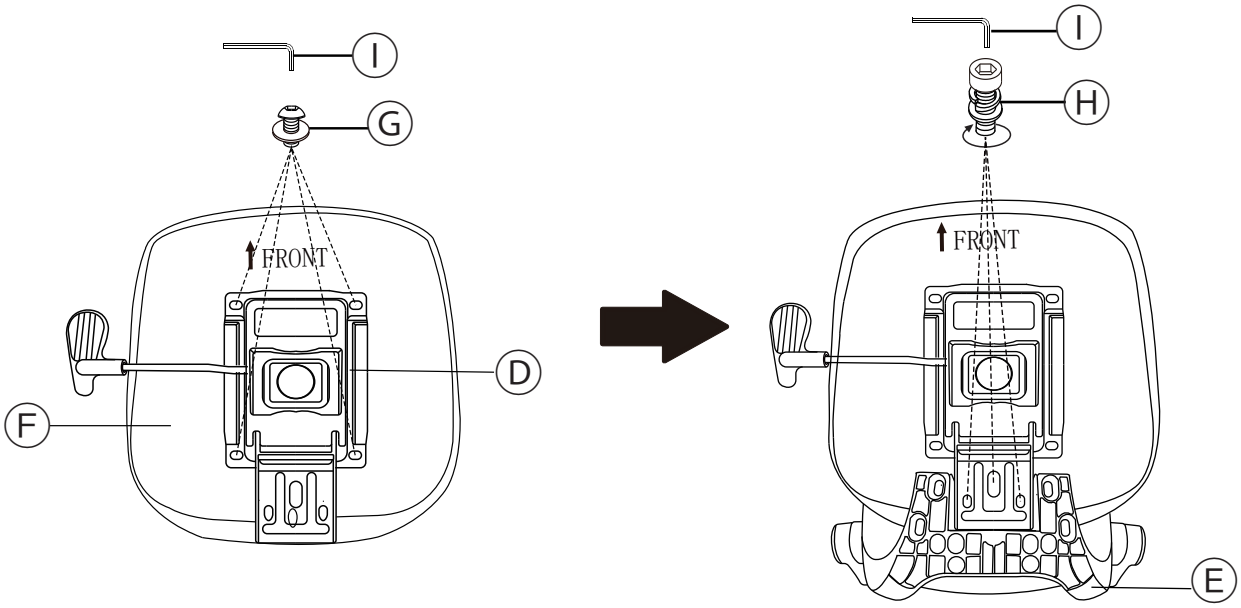
2 ブラケットと背もたれの取り付け

下図を参考に、Ⓓブラケットと Ⓔ背もたれを Ⓕ座面へ取り付けてください。

最初（仮締め）



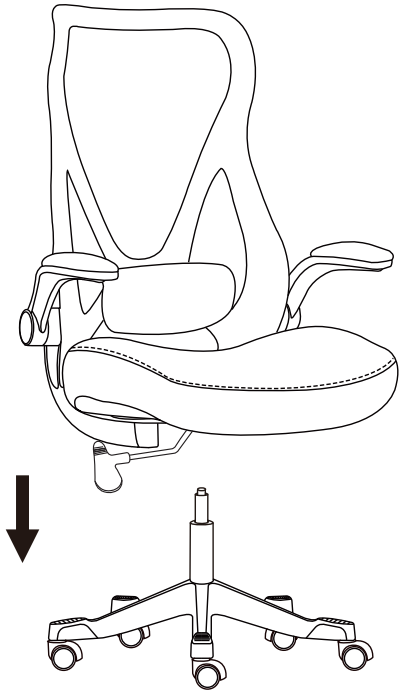
8割程度まで



組立説明図

（プラスドライバーを用意し、安全のために必ず２人以上で組み立てを行ってください。）

3 脚部へ本体の取り付け



4 完成

ボルトの締め付けを行い、完成です。

最後（本締め）



根元までしっかり

